



フォーバル、下関市初のDX事業となる 「令和7年度 中小企業DX伴走支援事業」を受託 ～個社訪問と伴走支援で、市内企業の生産性向上と課題解決を推進～

株式会社フォーバル（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：中島將典、以下「フォーバル」）は、このたび山口県下関市が実施する「令和7年度 中小企業DX伴走支援事業」を受託いたしましたので、お知らせいたします。



Shimonoseki-city
下関市



「新しいあたりまえ」で、新しい世界を創る

事業受託の背景と目的

社会経済環境が大きく変化し続ける中、ICTやAIなどのデジタル技術を活用した生産性向上や新たな価値創出の重要性が高まっています。特に人手不足が深刻化する中、中小企業・小規模事業者においては、DXの推進による業務効率化や競争力強化が課題となっています。

下関市においても、生産年齢人口の減少や就業者の高齢化に加え、少人数経営による業務の属人化、紙・口頭を中心とした業務運用、情報共有の遅れといった構造的な課題を背景に、DXの必要性が高まっています。一方で、業種ごとに経営課題やデジタル活用の状況は大きく異なり、画一的な支援ではなく、個社の実態に即したきめ細かな対応が求められています。

こうした状況を踏まえ、フォーバルは本事業を通じて、個社の現状に即した支援によりDXの第一歩を明確化し、業務効率化や人手不足への対応、新たな付加価値の創出へとつなげていきます。あわせて、モデル事例の創出とその横展開を通じて、市内企業全体のデジタル変革の促進とDXに対する意識の底上げを図り、実効性の高いDX支援を推進します。

フォーバルの本事業における具体的な取り組み

周知・啓発

DXに関する基礎知識の習得を目的としたセミナーや、AIを活用したワークショップ等を開催し、企業が自社でDX推進に取り組むきっかけを創出

実態調査

約100社の中小企業を訪問し、DX状況の診断や経営課題・業務課題のヒアリングを通じ、各社の実態に応じたDX推進の方向性を整理

伴走支援

企業のDX進捗に応じて選定した企業に対し、約4か月間の伴走支援を実施
業務の標準化・デジタル化、情報共有の高度化、人材育成などを推進

取組事例

取り組み成果を事例として可視化し、市内企業へ横展開することでDXの普及を促進

これらの取り組みを通じて、企業内に持続可能なDXの土台を構築するとともに、市内企業全体のデジタル変革と意識の底上げを図ります。

下関市産業振興部産業振興課 様 コメント

下関市内の中小企業の皆様は、深刻な人手不足等の経営課題に直面しており、ICTやAIなどのデジタル技術を活用した業務効率化や生産性の向上、新規事業・事業拡大の促進による新たな付加価値の創出などに取り組むことが喫緊の課題となっています。

本事業では、DXの知識の習得と取組の促進に向けた積極的なアプローチを行うとともに、継続的な支援を通じた人的な伴走支援を実施いたします。

本事業が、下関市内企業全体のデジタル変革の促進とDXに対する意識の底上げに繋がることを期待しています。

株式会社フォーバルについて

株式会社フォーバル（東証スタンダード：8275）は、中小・小規模企業向けの伴走コンサルティングを主力事業とし、「情報通信」「海外」「環境」「人材・教育」「起業・事業承継」の5分野で経営支援サービスを展開しています。独自の「企業ドクター（次世代経営コンサルタント）」モデルを通じて、経営課題の可視化から改善提案、実行支援までを一気通貫で提供し、ESG経営、人的資本経営、DX/GX推進など企業価値向上に資する高付加価値支援を行っています。

また、地方創生戦略「F-Japan構想」のもと、自治体、民間企業、教育機関、金融機関との連携による地域共創モデルの構築および横展開を推進しています。

■会社概要

社名：株式会社フォーバル

代表：代表取締役社長 中島 将典

設立：1980年（昭和55年）9月18日

所在地：東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号青山オーバルビル14階

URL：<https://www.forval.co.jp>